令和了年度 上田市立川西小学校 自己評価 (前期)

			市立川西				^ = 			
学校教育目標		めざす子どもの姿			総合評価 ①体育の時間だけでなく休み時間も積極的に体を動かす児童が多い。個人差があるので、お楽しみ係が外遊びの提案をするなどクラス毎工夫した取り組みをして					
			①進んで体を鍛え、明るく、元気よく活動する子(体) ②自らねばり強く考え、課題を解決しようとする子(知) ③笑顔とあいさつを大切にし、友だちと協力し合える子(情) ④自分で考え、進んで物事に取り組む子(意)			いる。 ②学習に向かう姿勢が向上してきている。目的に応じて個人追究や集団追究など変化のある学習活動を盛り込み、メリハリを意識した授業づくりを心掛けたことが粘り強く追究する姿につながっている。 ③相手意識をもち、あいさつを返せる児童が増えてきた。さらに気持ちのよいあいさつが増えるように呼びかけを行うなど、6年生がリーダーシップを発揮し始めている。④仕事の意味やめあてなどを確認することで、係や児童会の役割に責任をもって取り組める児童が増えた。教師が児童の手本となるように真剣に清掃に取り組む姿を見せることで、児童の清掃の仕方が向上してきている。				
ウミネニ			今年度の重点目標 【 自分を超える 】			成果と課題	A	В	C	D 改善策・向上策
	もに	5考え 高め合い やく子	① []	上体的・対話的で深い学び」の実現		個人追究と集団追究の時間を適切に設定することで、自分の考えを深めたり新しい考え に触れたりする機会を増やすことができた。	-	0		さらに学びを深めたり広げたりできるように、単元構想の段階から考えを 伝え合う場面や内容について吟味して授業に臨むように心がけていく。
75 75 75 75			② 「探究的な学習」の充実			地域のひと・もの・ことに触れる時間を全ての学年で十分にとることを心がけ、関わりの中から生まれる個々の問いを出発点にした学習を展開することができた。		0		生活科や総合的な学習の時間だけでなく、そのほかの教科でも探究的な学びができるように児童の思いや願いから学びを進めていくような授業づくりを進めていく。
			③ 通常学級における特別支援教育の充実			個に応じた支援や合理的配慮について職員研修で理解を深め、実践できるようにした。 一人一人の子どもたちにどのような支援が必要かチームで考えることができた。		0		各クラスでの個に応じた支援について教師同士が学び合う。また、合理的 配慮についてのハンドブックを手元において適切な支援が普段からできる ようにしていく。
			③ 校内支援体制・環境の整備			多目的教室を校内中間教室として整備した。支援会議や教育相談も積極的に行い、安心 して学校生活を送れるようにしたり、居場所づくりに努めたりした。	0			児童や保護者に寄り添いながら支援会議を行うことを継続する。また、外部機関との連携に努め、安心して生活できる居場所づくりについて多角的に検討していく。
領域	対象	評価	項目	評価の観点	評価方法	成果と課題	Α	В	СП	
	· ·	く そしい学校づく	<り	児童一人ひとりが、「できた」「わかった」「楽しい」「うれしい」と実感できる学校になっているか。	アイウエオ	授業の中で子どもたちは生き生きと学ぶ姿が見られる。授業のユニバーサルデザイン化を意識した授業づくりに全職員で取り組んでいることが、安心して学ぶことにつながっている。1時間の授業のめあてが達成されるような授業を継続していきたい。		0		合理的配慮についての理解をさらに深め、どの子も安心して学べる教室づくりに継続して取り組んでいく。指導主事等に研修を依頼し専門的な視点から助言を受ける機会を増やしていく。行事では、めあてをもって取り組めるような声がけをしていく。
	体運動への取力)組み	だれかと一緒に運動する楽しさや体を動かすことの楽 しさを感じることができる取り組みをしているか。	アイウエ	体育の授業で学んだことを休み時間の遊びに生かす姿が見られた。また、休み時間は校庭や体育館で遊んでいる児童が多い。教職員も一緒の体を動かしている。一方、自分からなかなか体を動かすことがない児童も見られる。	5	0		体を動かすことが楽しいとどの子も感じられるような体育の授業づくりを 心がける。運動な苦手な児童も少なくないので、安心して取り組める配慮 をしていく。
	0上	規則正しい生活築	舌リズムの構	「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」を意識した生活ができるよう、継続した指導を行っているか。	アイウエ	保健指導などで規則正しい生活づくりについて指導を継続している。睡眠時間が短くなり、体調を崩す児童もいることが課題である。			0	保健だよりや保健指導を通して呼びかけることで、すべての児童が習慣化するように取り組んでいく。児童一人一人が、せいかつのリズムを整えることのよさを実感できるような学びの場を設定する。
	学力向上	「主体的・対話的で深い 学び」の実現		児童が学びの主(主人公)になっているか。	アイウエオ	答えが一つではない課題についてみんなで話し合ったり、個々のペースで練習問題に取り組んだりと、児童が主体的に学習に向かえるような工夫がされた授業ができている。 運動会などの行事では、一人一人が活躍する姿が見られた。	2	0		今後も授業や単元の導入を大切にし、子どもたちの思いや発言を大切に聞き取りながら課題を設定していくなど、授業の主体は子どもという意識をもって授業構想をしていきたい。
≠ /π				自由進度学習やICT機器の利活用など、未来に生きて働く力を育む教育手法を取り入れているか。	アイウエオ	クラウド型授業支援プラットホーム(ロイロノート)の活用が進み、協働的な学びのある授業が増えてきた。また、学んだことや伝えたいことを表現する手段の一つとしてグラフィックデザインツールを活用する場面も増えた。浦里小学校との遠隔教育も少しずつ進んでいる。	۵.	0		引き続き職員研修を継続し、ICT活用のスキルを向上させながら個別最適と協働的な学びが実現できる授業づくりを目指していく。多くの考えに触れられる機会を大切にしながら遠隔教育を進めていく。
教育活動		「探究的な学習」の充実		地域に学ぶ学習や課題解決力を高める学習が実践されているか	アイウエオ	地域に飛来するチョウの成長、川遊び、米作り等、地域素材を生かした学習を各教科、各学年で展開することができた。地域素材と関わることで、新たな気づきや問いが生まれ、主体的に学ぶ姿につながっている。		0		子どもたちの願いを基にした課題になるように授業を工夫していく。学んだことをアウトプットする機会を大切にして、分かったことや更なる問いについてまとめ、発信する力も身につけていきたい。
	教情 居心地のよい 育操)学級づくり	児童が自己肯定感を持ち、安心して生活できるための 取り組みを進めているか。	アイウエ	人間関係を形成していく中でトラブルもあったが、問題解決に向けて教師が一人一人に 寄り添った対応を心がけ、安心して過ごせる環境になってきている。児童集会(じぶこえ集会)は、他者理解につながっている。		0		じぶこえ集会を継続、発展させ、全校で友だちのよさやがんばりに気づく ことができる雰囲気を作っていく。学級での係活動等、一人一人が所属感 や自己有用感を実感できる活動とその振り返りを大切にする。
	自主・自立を	児童会・係活	5動	「自分たちの学校を自分たちでより良くする」という 視点を大事にした活動を計画・実践しているか。	アイウエ	児童会主催の「じぶこえ集会」の企画運営を通して、主体的に活動する力が身についてきた。各委員会の企画活動について、全校のためにという視点を入れながら計画している。当番活動について責任をもって取組めるようにしたい。		0		6年生が100日チャレンジであいさつに取り組んだことをじぶこえ集会で全校に伝える。あいさつを交わすことのy気持ちよさを子どもたちから発信し全校に広める活動を計画している。。
		家庭学習の充実		「紡ぐ」や「自主学習ウィーク」を活用した、計画的 な家庭学習の習慣化が図られているか。	アイウエ	自主学習に取り組む「じぶこえDAY]を学期ごとに設定して取り組んだ。どんなテーマにどのように取り組むか事前指導を行い、自信をもって自主学習に臨むことができた。日常的な家庭学習については習慣化されるように個に応じた支援をしている。		0		1学期以上に個に応じた事前指導を十分に行い「じぶこえDAY」を実施する。また、自主学習の継続につながるように発達段階に応じた振り返りを行うようにする。
	育てる	メディアとの)関わり	メディアの利活用を計画的に行うとともに、適切な関 わり方について考え、生かしているか。	アイウエオ	情報モラルという視点では他者を傷つけないように気をつけて使おうとしている児童が多い。メディアコントロールデーを活用して、各家庭ごとにメディアの使用について気をつけることを明文化する取り組みをした。		0		メディアとの関わり方、特にゲームやSNSについては家庭の協力が必要不可欠なので2回目のメディアコントロールデーでのルールの話し合いを各家庭に協力を仰ぐ。学校でも高学年を中心に情報モラル教育を充実させていく。
学		コミュニティ の充実	· ースクール	学校運営協議会やコーディネーターと連携し、地域や PTAとの協力・支援を図ることができたか。	アイエオ	花壇の整備、読み聞かせ、その他各学年の活動を地域の方々と一緒にできた。学校運営協議員の皆様には授業を参観していただき、子どもたちの様子から学校に対して適切な助言をいただきありがたかった。PTA作業、運動会準備片付けなど多くの場面で支えていただいた。		0		職員の地域研修を積み重ね、地域素材の教材化に継続的に取り組んでいく。学習支援ボランティアの皆さんへのお礼の会を計画し、地域から学んだことを地域やPTAの皆さんに伝えることで川西のよさを再確認できるようにする。
校運営	研修	UD化を視点 力の向上	とした授業	自己課題を改善するため、自己評価や児童からの評価 を活かし、日々の授業改善を行っているか。	アイウ	東信教育事務所の指導主事を招いて誰もが安心して学べる教室についての研修を二度実施した。個に応じた学習カードを用意したり、1時間の流れを示してから授業を始めたりするなど安心して学べる環境づくりを心掛けている。		0		不安を感じやすい児童に寄り添った支援ができるように研修を行う。授業のめあてがどの子も達成されるように具体的、視覚的、肯定的な支援ができているか授業の振り返りを行う。
	組織	情報の共有は による指導	および全職員	子どもたちの状況にかかわる情報をチームで共有し、 同一歩調で対応できているか。	アイ	保護者へ協力をお願いして支援会議を開くなど、個々の児童をチームで支える体制づく りに努めている。	0			引き続き家庭や地域と連携しながら全校児童の成長を全職員で支えてい く。児童理解や学校事故防止につながることは素早く情報を共有し全職員 の意識をそろえて対応していく。
					:教師自身による評価 イ:学校長による評価 ウ:児童アンケート エ:保護者アンケート オ:学校運営協議会委員アンケート					

〇評価方法 ア:教師自身による評価 イ:学校長による評価 ウ:児童アンケート エ:保護者アンケート オ:学校運営協議会委員アンケート 〇評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった